

# 令和5年度 北海道旭川南高等学校 シラバス

| 教科名     | 科目名          | 年次  | 単位 | 年間予定時間 | 担当       |
|---------|--------------|-----|----|--------|----------|
| 外国語（英語） | 英語コミュニケーションⅠ | 1年次 | 3  | 105    | 奥山・米地・柳田 |

## 年間指導計画

| 前期中間 時数 | 前期期末 時数 | 後期中間 時数 | 後期期末 時数 |
|---------|---------|---------|---------|
| 21      | 30      | 27      | 27      |

## 授業の目標

- (1) コミュニケーションのための外国語の知識・技能の習得に加えて、ことばを通して思考力・判断力・表現力を高め、豊かな言語観を形成する。
- (2) 「聞くこと」・「話すこと」・「読むこと」・「書くこと」の4技能を総合的に育成する。

## 学習方法

- ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえる。
- イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえ、また、聞き手に伝わるように音読する。
- ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えを話し合ったり意見の交換をする。
- エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えを簡潔に書く。

## 教科書・教材

My Way English Communication I (三省堂) My Way English Communication I Workbook (三省堂)  
必携英単語 LEAP(数研出版)

## 評価の観点・規準・方法

| 評価の観点           | 評価規準（到達目標）                                                                                                                  | 割合  | 評価の方法                                 |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------|
| ア:知識・技能         | 外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につけており、その知識を4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。                                | 40% | 定期考査・単元テスト                            |
|                 |                                                                                                                             |     |                                       |
| イ：思考・判断・表現      | 場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したり適切に伝え合っている。                                                    | 40% | 授業中の取組状況                              |
|                 |                                                                                                                             |     | 定期考査・単元テスト<br>インタビューテスト・発表（スピーチ・プレゼン） |
| ウ:主体的に学習に取り組む態度 | 外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国で伝達されたことを活用して、自分の意見や考えなどを表現しようとしている。 | 20% | 授業中の活動への取組状況                          |
|                 |                                                                                                                             |     | 課題・宿題等の提出物の提出状況                       |

## その他・備考

上に示す観点に基づいて学習のまとめりとともにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。